

日本語教師が知っておきたい

「日本在住外国人の社会的状況と法制度」

コーディネータ: 黒崎誠・齋藤ひろみ(教師研修委員)



みなさんの周囲で日本語を学ぶ外国人の方は、社会的にどのような状況にあるのでしょうか。2010年7月には、入管法(出入国管理および難民認定法)が改正されます。この改正が外国人住民の生活に及ぼす影響は小さくないでしょう。外国人住民の方と共に暮らすためにも、支援をしたり日本語を教えたりする上でも、関連のある法制度について知ることは重要です。

この研修では、事例をもとに、法律の専門家に、入管法改正のポイントをわかりやすく解説してもらいます。在留資格によって生活の仕方に違いがあるのか？就労、医療・福祉、教育面で制度的制約があるのか？法的な保護はどうなっているのか？そんな疑問をおもちの方、是非、ご参加ください。外国人住民の生活と法制度について理解を深め、日本語教師、地域の支援者、学校教員、行政担当者として、今後の教育や支援のあり方について、一緒に考えてみましょう。

◆日時：2010年9月11日(土) 13:00~17:00

◆会場：東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 JR線・京浜急行線品川駅港南(東口)徒歩約15分

交通詳細はこちらをご覧ください→ <http://www.kaiyodai.ac.jp/info/access/access.html>

◆講師：小松原祥一(小松原行政書士事務所 行政書士)

◆参考図書・資料：「日本語教師が知っておきたい外国人に関する法律知識」(監修・文 小松原祥一)

アルク『月刊日本語』2009年4月号~最新号掲載

◆対象：外国人住民の支援・教育活動を行っている方、自治体等で関連のある仕事をしている方

◆定員：80名

◆参加費：会員2,000円, 一般2,500円, 学生1,500円

※応募書類受領後に銀行振込先口座番号等をお知らせします。一旦納入された受講料の返金には応じかねます。

◆内容(予定)：

①	開会・趣旨説明	1:00-1:10
②	講義1	1:10-2:25 「入管法改正のポイント」(質疑応答15分)
休憩 2:25-2:40		
③	講義2 (話し合いを含む)	2:40-4:40 「事例に見る在住外国人の社会的状況と法制度」 30分×4事例(各事例について、10分程度の話し合いを行う)
④	まとめ・閉会	4:40-4:55 講師からのコメント

◆申込方法：

日本語教育学会ホームページの教師研修ページ <http://www.soc.nii.ac.jp/nkg/menu-kenshu.htm> より参加申込書をダウンロードして記入し、Eメール添付またはプリントアウトしてFAXで事務局までお送りください。参加申込書が到着次第、折り返し、受講料振込み口座番号等をEメールにてご連絡いたします。Eメールで応募する場合、メールタイトルは「**法制度研修9月11日申込**」としてください。

参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、申込書未着の可能性がございますので、お手数ですが必ず再度ご連絡ください。

※ホームページから申込書がうまくダウンロードできない場合は、下記までお問い合わせください。

折り返し申込書をお送りいたします。

※応募書類は返却いたしません。また、この募集に関して集めた個人情報は、本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆申込締切：8月31日 ※ただし、定員になり次第、締切り日前でも受付を終了します。

◆申込書の送付先と問い合わせ：（社）日本語教育学会 教師研修委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

以上